「最良執行方針」新旧対照表

（下線部変更箇所）

新（改定後）	旧（現行）
2026年11月	2024年1月
3.当該方法を選択する理由 ・上場株券等 金融商品取引所市場は多くの投資家の需要が集中しており、取引所外売買と比較すると、流動性、約定可能性、取引のスピード等の面で優れていると考えられ、ここで執行することがお客さまにとって最も合理的であると判断されるからです。 また、複数の金融商品取引所市場に上場されている場合には、その中で最も流動性の高い金融商品取引所市場において執行することが、お客さまにとって最も合理的であると判断されるからです。 複数の金融商品取引所市場等から最良価格がある市場を自動的に選び、注文を執行する「SOR」（Smart Order Routingの略称）については、より価格優先での取引が期待できることから、2028年中を目途に導入する予定です。システム導入にあたっては開発等に相応の時間を要するため、導入日確定後、改めて最良執行方針の改定内容をお送りします。なお、導入までの期間については、現行の最良執行方針に則り、価格のみならず、例えば、コスト、スピード、執行の確実性等さまざまな要素を総合的に勘案し注文を執行します。	**3.当該方法を選択する理由** ・上場株券等 金融商品取引所市場は多くの投資家の需要が集中しており、取引所外売買と比較すると、流動性、約定可能性、取引のスピード等の面で優れていると考えられ、ここで執行することがお客さまにとって最も合理的であると判断されるからです。 また、複数の金融商品取引所市場に上場されている場合には、その中で最も流動性の高い金融商品取引所市場において執行することが、お客さまにとって最も合理的であると判断されるからです。 複数の金融商品取引所市場等から最良価格がある市場を自動的に選び、注文を執行する「SOR」（Smart Order Routingの略称）については、より価格優先での取引が期待できることから、2025年を目途に導入する予定です。システム導入にあたっては開発等に相応の時間を要するため、導入時期確定後、改めて最良執行方針の改定内容をお送りします。なお、導入までの期間については、現行の最良執行方針に則り、価格のみならず、例えば、コスト、スピード、執行の確実性等さまざまな要素を総合的に勘案し注文を執行します。

以上